

仕事はチャレンジにあふれている

現場の声聞き、変革をサポート

竹川仁視さん(35歳)は、2009年3月に東京薬科大学を卒業(薬剤師)し、同年4月に入社したグラクソ・スミスクライン(GSK)で現在、コンプライアンスマネージャーとして働く。MRとして約7年、社内広報担当に16年に異動し、21年から現職。この間、常に社内外の目と変化の波にさらされ、自身もチャレンジの連続だった。しかし、そのチャレンジと共に経験値を積み上げ、仕事の幅を広げ、今なお途上にある。薬学生には「就職先の選択肢が狭いと感じているかもしれないが、それはもったいないこと。初めから選択肢を絞り込まず、したいことには制限を設けずチャレンジしてほしい」とエールを送る。

グラクソ・スミスクライン
コンプライアンスマネージャー
竹川 仁視さん

コンプライアンス担当と聞くと、縁遠く感じるかもしれない。しかし、変化が大きい今の事業環境の中で、その仕事には社会に出たときに必要なノウハウとスキルが詰まっている。そのノウハウとスキルを伝えたく、竹川さんのコンプライアンス担当の仕事と今日に至る経路を紹介する。

何事もチャレンジをする際、変革が伴い、それには壁が立ち上がる。その壁を力づくで壊すような剛腕マネジメントだけでは、変革を進める側と受ける側を分断し、相互の信頼を壊しかねない。むしろ、共に乗り越えるための相互理解を醸成しながら新たな道を切り開いていく姿勢が必要ではないか。そう考え、取り組んできた一人が竹川さんだ。

まずは、コンプライアンスとはどんな仕事なのか。コンプライアンスには、新しい取り組みに対し、あれはダメ、これもダメと止めに入ったりする「警察官」のようなイメージを持つかもしれないが、冒頭に触れたように、それは違う。

竹川さんはこう語る。「今はビジネス環境の大きな変わり目にあります。過去の仕事の仕方が合わなくなり、何か新しい取り組みに変えつつけていかな



ければならない時期です。新たなアクションをする場合、リスクを明確にしながら、目的に向かってどう取り組むのがよいのか、ビジネスの意思決定をサポートする、そして取り組みが加速するようサポートするのが役割です」
例えば、最近では、MRと医薬品卸との働き方の見直しという案件があった。見直し策は昨年実施したが、実施までの間、営業現場を巻き込んだ議論は、卸とMRとの連携関係に大きな変化を迫る可能性があり、現場からは不安の声が届いた。

竹川さんが直接携わった案件ではないが、現場の



「チャレンジの機会があれば、それには『イエス!』と答えたい」と話す竹川さん

不安感や困りごとに対し、信頼を醸成しながら、新たな取り組みを進めることについて経験はあった。そこから得た教訓めいたものが、竹川さんの活動を支えている。

(8ページへ続く)



新卒生限定 **10泊12日**
ハワイ研修実施!

関西圏を中心に全国へオレンジ薬局を展開

初年度年収 **450~550万**

希望店舗での勤務OK! 働き方次第で高収入も可能! あなたの頑張りを評価します!

- (株)プチファーマシスト
- (株)オレンジファーマシー
- (株)東京オレンジ薬局

全国に**130店舗**展開中!!
渋谷駅前店・池袋西口店・大阪中津店
阿倍野店・芦屋店・菊川店・北浜店 等

インターンシップ参加者募集

オレンジ・元気薬局

検索



薬剤師
国家試験
対策.com

薬剤師を目指す薬学生のための
国家試験対策支援サイトです



ご登録・ご利用完全無料

be89314

検索